

開催日及び場所			令和6年9月30日（月）		横浜植物防疫所会議室	
委員			嶋矢 剛（公認会計士） 中曽根 玲子（大学教授） 田中 康晃（弁護士）			
審議対象期間			令和6年4月1日～令和6年6月30日			
審議対象案件			113件 うち、1者応札案件 34件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件			
抽出案件			15件 うち、1者応札案件 7件 （抽出率13.27%） 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 （抽出率0%）			
抽出案件内訳	工事	一般競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
		指名競争	公募型指名競争	－		
			工事希望型競争	－		
			その他の指名競争	－		
		随意契約		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
	業務	一般競争		－		
		指名競争	公募型競争	－		
			簡易公募型競争	－		
			その他の指名競争	－		
		随意契約	公募型プロポーザル	－		
			簡易公募型プロポーザル	－		
			標準型プロポーザル	－		
			その他の随意契約	－		
	物品・役務等	一般競争		13件 うち、1者応札案件 7件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
		指名競争		－		
		随意契約（企画競争・公募）		－		
		随意契約（その他）		2件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
	（特記事項） 特になし					
	委員からの意見・質問、それに対する回答等			意見・質問		回答等
				「令和6年度複合機保守管理業務（リコー社製）単価契約（役務）」 「令和6年度 動物検疫所羽田空港支所における複合機保守点検業務契約（リコー社製）（単価）（役務）」 ・リコー社製複合機の保守業務に係る横浜本所と羽田空港支所の契約業者について伺いたい。 ・各案件の予定価格は各所で決定しているのか。 ・代理店は複数あるのか。		・横浜本所ではリコー株式会社の代理店である株式会社ねずらむからリコー社製の複合機を購入しており、保守管理業務も当社が落札している。また、羽田空港支所ではリコー株式会社が保守点検業務を落札している。両所の差異については、会社方針、地域制があると思われ、直接リコー株式会社が入札するケースと代理店を通して入札するケースがある。 ・然り。 ・代理店は複数あると思われる。横浜本所の案件は株式会社ねずらむから複合機を購入したため、当該業者が入札に参加したと思われる。
「令和6年度トナーカートリッジほか51品目購入（単価契約）（物品）」 「令和6年度トナー購入（単価）」 ・トナー購入案件の落札者である井上企画は代理店なのか。				・代理店ではなく、トナーの販売等に特化した者である。		
「令和6年度薬品購入（単価）」 ・薬品ごとに市場価格等の検討はしているのか。 ・薬品価格を下げることで、入札に影響はあるのか。				・薬品に関する専門知識を持っていないため参考見積を取得している。 ・入札業者の入札価格なので、影響はないものとする。		
「令和6年度靴底消毒業務（横浜港）単価契約」 ・応札者1者となった経緯を伺いたい。 ・靴底消毒の実績がなかった場合も最低額の報酬等、一定の保証を設定することは可能か。 ・コロナ禍が終わりクルーズ船の便数は増える見込みなのか。 ・増便が増えることで他社の応札を望める見込みはあるのか。				・新しい業者の入札がなく1者入札が続いている。 ・保証を設定することはできない。 ・然り。コロナ禍前の便数に戻りつつあると見込んでいる。 ・スケールメリットが出ることで他社の入札を期待したい。		
「令和6年度家畜防疫官官服購入（単価契約）」 ・再度入札であったのか。				・1回目の入札で予定価格に達しなかったため、2回目の入札を行ったものである。		
「動物検疫所羽田空港支所における検疫探知犬を用いた探知サービス業務（令和6～10年度）」 ・契約金額が多額であることから案件として抽出した。				・契約金額が多額な理由は5年間に亘っての国庫債務負担行為のためであり、当該金額が今年の単年度に掛かる金額ではない。		
「鳥インフルエンザ（油性アジュバンド加）不活化ワクチン170万ドーズ購入」 ・他社の参入は期待できないのか。				・今回の応札業者はワクチンの製造・販売会社である。前年度の入札参加業者はその代理店である。 ・現状、ワクチンの製造会社は国内に数社あるが、製造ラインの確保等が難しいことから応札には至っていない状況である。		

	「中部空港支所検疫場他 1 箇所における電気利用契約」 ・ 空港案件は随意契約になることが多いと思われるが、一般競争である理由を伺いたい。 ・ 過去の入札も同じような経緯であったのか。 ・ 次回以後は過去の入札経緯等の資料も含めて頂きたい。	・ 本件は空港外にある検疫施設の案件である。 ・ 令和 3 年度及び令和 4 年度は、一般競争入札を行っている。 ・ 承知した。
	「中部空港支所における靴底消毒業務」 ・ 空港案件は随意契約になることが多いと思われるが、一般競争である理由を伺いたい。 ・ 空港会社や税関の案件に慣れている業者でないと入札参加は難しいのか。 ・ 1 者応札事後チェックリストのアンケートの回答が、曖昧に感じるものがあるが、回答の理由を求める等の対応はしているか。	・ 土地建物賃貸借契約等は契約相手方が特定されるため随意契約になるが、これら以外の事案は一般競争を行っているが、不調のための随意契約となっている。 ・ 空港の出入りに慣れている業者の方が手続きに慣れているため参加しやすいことに加え、空港はセキュリティー等特殊な手続きの面があるため、内情を理解している業者の方が入札に参加しやすいことも事実だと考えられる。 ・ 業者に回答の理由を求め、改善できる点については改善したい。
	「動物検疫所中部空港支所における通訳業務（北京語）及び家畜防疫官等補助業務」 ・ 税関等も通訳業務を調達していると思うが、同じ業者なのか。 ・ 現状の情勢から人件費は増えているのか。	・ 把握していない。 ・ コロナ禍前の便数になっており、当初の雇用人数と比較すると倍近く雇用していることから人件費は上がっている。
	「令和 6 年度動物検疫所関西空港支所関西空港検疫場で使用する電気（単価）」 ・ 応札者がなかったため随意契約となったのか。 ・ 電気の入札繁忙期とはいつか。	・ 然り。 ・ 1 月～ 2 月中旬である。
	「動物検疫所門司支所新門司検疫場で使用する電気（単価）」 「動物検疫所門司支所鹿児島空港出張所第 2 検疫場で使用する電気（単価）」 ・ 随意契約となった経緯を伺いたい。	・ 本年度は 1 月と 2 月にそれぞれ公告したが不調となったため、最終保障供給契約先である九州電力送配電と九州電力との随意契約に至った。令和 5 年度も不調のため随意契約となった。令和 4 年度は入札により契約に至ったが、相手方は同じく九州電力である。なお、一者応札改善のアンケートの回答として、会社の方針により契約規模が小さい入札には参加しないというものもあった。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 〔これらに対し所長が講じた措置〕	特になし	